

令和5年度第1回 北海道留萌管内地域公共交通活性化協議会 開催概要

日 時：令和5年（2023年）4月27日（木）13：30～

場 所：羽幌町役場 4階大会議室

出 席：別紙名簿のうち、天塩町、中央バス、開発建設部、
道警、豊富町及び羽幌沿海フェリー一欠席
初山別村（鈴木主任）及びてんてつバス（道添部長）代理

開会挨拶

→ 榎波会長より挨拶

1 【議題】北海道留萌管内地域公共交通計画 素案について

→ 阿部より、本日協議会が14名出席により、成立要件を満たしていることを報告

→ 引き続き、原案からの変更点とその理由について資料により説明、一同異議なく了承

2 今後のスケジュールについて

→ 阿部より説明、特段異議なし。

→ 榎波会長より、計画は策定して終わりではなく、地域交通の維持確保のためできることを考え、取組を進めその効果を検証していくものであることを補足。

3 その他

→ 地域交通の直近の状況等について、各出席者より発言。

- ・ JR 代替交通の状況（留萌市）
- ・ 町で活性化協議会を設置したことの報告（小平町、遠別町）
- ・ JR 羽幌線の基金が6～7年で尽きる見通しであり、対応が必要（苫前町）
- ・ 町内循環線がダイヤ改正で大幅に利用者増（羽幌町）
- ・ しょさまる号の運行状況（初山別村）
- ・ JR 留萌線廃止と代替交通確保への協力に対し感謝（JR 北海道）
- ・ 特急あさひかわ号の利用状況及び留萌旭川線の支援協議状況（沿岸バス）
- ・ 小平町のフィーダー線維持に向け引き続き尽力（てんてつバス）
- ・ 深刻な乗務員不足（ハイヤー協会）
- ・ 計画内容について異議なし（建設管理部）
- ・ R5に宗谷管内と町で交通計画策定協議。先例として留萌を参考にしたい（幌延町）

→ 加茂委員より意見あり。

- ・ 運転者数を数値目標にしていたのは賛成だった。それが変更になったことについて反対はしないが、誰かに任せていてはこの問題は解決しない。公共交通を知らない世代が運転手になることも少ないと思う。
- ・ 接続性を課題に挙げながら、その現状の整理が必ずしも十分ではないように感じている。また、45Pの路線図を見ると、重複しているのではとの印象も受ける。
- ・ 観光誘客も対策となりうるし、私は観光も担当しているので、今後も一緒に課題を解決していきたいと考えている。

→ 榎波部長より、指標については利用者数でまとめる形になったが、実際は観光入込客数や運転者数も参考指標のような形で残して、ウオッチしていきたい旨回答。